

推進施策5 多面的機能の発揮に向けた地域資源の保全管理

【取組内容】

- 多面的機能支払交付金において、県独自の取組である全活動組織による生態系保全の地域共同活動により、田んぼまわりの生態系保全に対する関心や協力意識の向上、世代を超えた幅広い交流が盛んになるなど地域コミュニティの向上が図られました。
- 中山間地域直接支払制度において、H28は取組面積57ha増となり、〇〇haの農地を保全するとともに、今後の取組推進に向けて、対象市町村と手法検討などを実施しました。
- とちぎ夢大地応援団による活動(延べ494名の参加)により、延べ13地域で豊かな地域資源の保全が図られた。
- 今後の中山間地域を牽引する中山間地域人材養成実践講座(座学、現地視察)では、『私の里づくり提案発表会』を含め、計7回開催し、受講生17名が修了しました。
- 鳥獣被害対策は、効率的な対策に向け、ICTを活用した防除システムの実証に取り組んだ他、獣害対策の地域リーダーを育成する講座(座学、現地実習)では、計10回開催し、受講生10名が修了しました。



ボランティア等による保全活動

【目標達成状況】

※1 上段は目標値、下段は実績値

目標指標	現状 H26	計画期間※1					年度目標 達成状況
		H28	H29	H30	H31	H32	
1)多面的機能支払事業における生態系保全活動への参加人数	12,700	14,200 14,273	14,500	14,800	15,100	15,300	—
2)鳥獣被害対策実施隊を設置した市町村数	3	7 6	8	9	11	12	△

※2 ○…おおむね達成 △…達成できない可能性がある ×…達成は困難

【今後の取組】

- 多面機能支払における事務支援策の調査検討や活動組織の広域化等活動体制強化の推進
- 中山間直接支払における活動レベルアップへの支援、未実施集落の取組推進
- 人材育成の修了者への活躍の場の提供に向けた取組
- 鳥獣被害対策実施隊制度や県民に対する被害や取組の現状等の理解促進